TOSHIBA 東芝インターホンテレビドアホン 親機／増設親機 取扱説明書

対象機種	親機　　　HTV5250M 増設親機　HTV5250S

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは必ず保管してください。

安全上のご注意

インターホンを

安全にお使いいただくために必ずお守りください

●ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

〔施工上のご注意〕

・電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電の原因となります。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードは破損します。
・電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。
・差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
・濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
・本体の電源端子を指定された機器以外の電源の中継に使用しないでください。火災、漏電、感電の原因となります。
・電源端子以外の端子に〈AC100V等〉電源線を接続しないでください。火災、感電の原因となります。
・システムを構成する場合は、指定された機器以外の機器を接続しないでください。火災の原因となることがあります。

禁止

・移動させるときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、〈通信線など〉外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

〔使用上のご注意〕

・機器を操作する場合、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
・機器に設けられた通気孔をふさがないでください。火災の原因となります。
・本体の通気孔から、金属類や燃えやすいものなど異物をいれないでください。火災、感電の原因となります。
・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災、感電の原因となります。
・機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。

禁止

〔異常時のご注意〕

・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線等）〈販売店等に〉交換をご依頼ください。火災、感電の原因となります。
・通話ができない、画像が映らない、呼出ができない、変な音がするなど、機器の動作に異常が起きたら、すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いて〈販売店等に〉修理をご依頼ください。故障した状態でそのまま電源を入れておくと、火災、感電の原因となります。
・万一内部に水や異物などが入った場合は、まず差し込みプラグをコンセントからぬいて〈販売店等に〉ご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
・万一煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐ差し込みプラグをコンセントからぬいて、煙が出なくなるのを確認して〈販売店等に〉修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

指示

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

〔施工上のご注意〕

・電源の配線工事には、電気工事士等の有資格者であることが法律で義務づけられています。無資格者の工事は、火災、感電の原因となることがあります。

禁止

・通信線の配線工事には、技術と経験が必要ですので、〈販売店等に〉ご相談ください。
・通信線は、電気設備技術基準等に従って、電源線から離して設置してください。
　混触した場合、火災、感電の原因となることがあります。
・壁掛け型の機器を取り外しておくときは、壁掛け金具を外して置くなどしてください。
　壁掛け金具に身体を引っかけて、けがや被服を損傷する原因となります。
・壁面に設置する際には、壁面材の厚み、材質に注意してください。使用中に落下してけがの原因となります。

注意

・壁掛け型の装置は、落下防止の工事を行ってください。地震等で落下した場合、けがの原因となります。

落下注意

〔使用時のご注意〕

・機器の下に〈ガラス、陶器等〉壊れやすいものを置かないでください。
　送受器の落下で破損し、けがの原因となります。

注意

〔保守・点検時ご注意〕

・機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災等の原因となることがあります。
　必要に応じて内部の掃除・点検を〈販売店等に〉ご相談ください。

注意

・お手入れの際は差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。
　感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

⚠注意事項

●機器間の配線は屋外架空配線やAC100V等の電力線との並行配線はおやめください。並行配線しますと、雷や電力線からの誘導電圧により機器破壊・誤動作・雑音混入・画質劣化する時があります。

●既設の配線を利用する場合は以下のことに、ご注意願います。

●既存のチャイム、ベル、ブザーの配線を利用してテレビドアホンに切り替える場合、電池式のチャイム・ベル・ブザー以外は配線にAC100Vが流れている場合がありますので、これを取り除いて配線材の線種（φ0.65mmまたはφ0.9mm）を確認後、接続してください。

※誤って、親機、子機間の配線にAC100Vが加わると親機、子機共に修理不可能な破損が発生します。

●本体は分解しないでください。内部に高電圧回路部があり、非常に危険です。電源を切にしても、内部の電気回路に高電圧が残留している事があります。
●電源は必ず家庭用のAC100Vのコンセント、または屋内配線に接続してください。その他の動力用やインバータ式などの電源に接続しますと、破壊・雑音混入・画像乱れが発生する事があります。
●このインターホンの親機は屋内専用で0℃～+40℃の範囲、カメラ付玄関子機は屋内屋外兼用で－10℃～+50℃の範囲で使用するよう設計してあります。取り付けの際はご注意ください。
●本体を落下させないでください。モニタ等にガラスを使用した部品があり割れたり、回路不良が発生する事があります。この場合には直ちに電源プラグを抜き、販売店や電気工事店にご相談ください。
●本製品は当社、他のテレビドアホンの親機、子機と互換性はありません。
●放送局などの送信アンテナの近くでは、電波が混入し映像が乱れたり、音声が混入する場合があります。
●電子レンジや携帯電話など、強い電磁波、電波が出る近くで使用すると、映像が乱れる場合があります。このような機器からは、できるだけ離して設置してください。
■親機は次に掲げる場所には取り付けないでください。
●電気・ガス・石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。●直射日光のあたる場所。●製氷倉庫など0℃以下になる場所。
●風呂場など特に湿気の高い場所。●有害ガスやいろいろなほこりが特に多い場所。●水や薬品がかかるおそれがある場所。
■子機を取り付ける際、取付面との防水性を確保する為、子機の上・側面の取付枠と取付面をコーキングしてください。尚、子機の地面側（下面側）はコーキングしないでください。
■玄関子機は防雨形ですが直接ホースなどで水をかけないでください。直接水をかけますと故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

●本製品は家庭用インターホンとして設計されていますので、監視カメラ等の様に連続使用する事はできません。
●子機の周囲の気温差によって子機レンズ部が結露し、親機の映りが悪くなることがあります。結露がなくなれば回復します。
●子機に内蔵している照明用赤外発光ダイオードの光の照射範囲は、カメラの撮像範囲よりも狭いため、周囲が暗くなると昼間よりも映る範囲が狭くなります。
●親機は、子機から5m以上離して設置してください。また、反響の多い場所への設置は避けてください。通話不良の原因になります。
●親機を2台接続している場合、他方の親機が通話中にもう一方の親機は通話できません。他方の親機が通話を終了してから、再度操作をやり直してください。

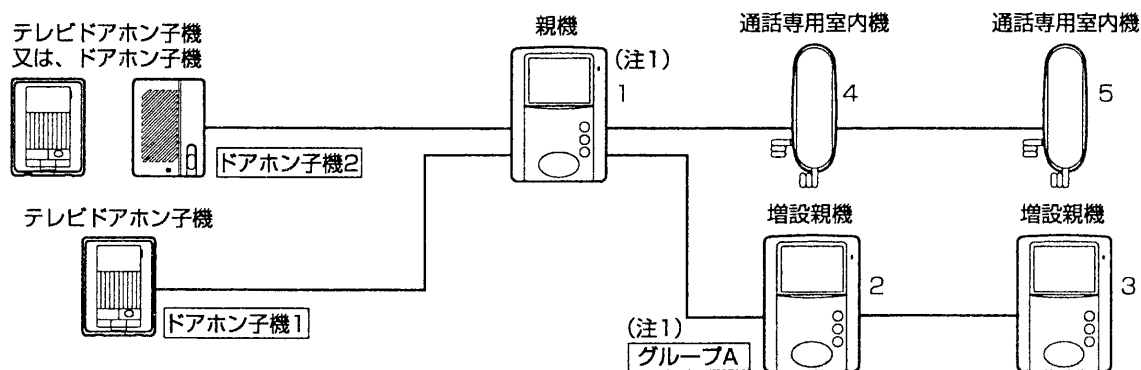
○この説明書では、テレビドアホン子機、ドアホン子機に共通することは「子機」と、親機、増設親機に共通することは「親機」と称します。

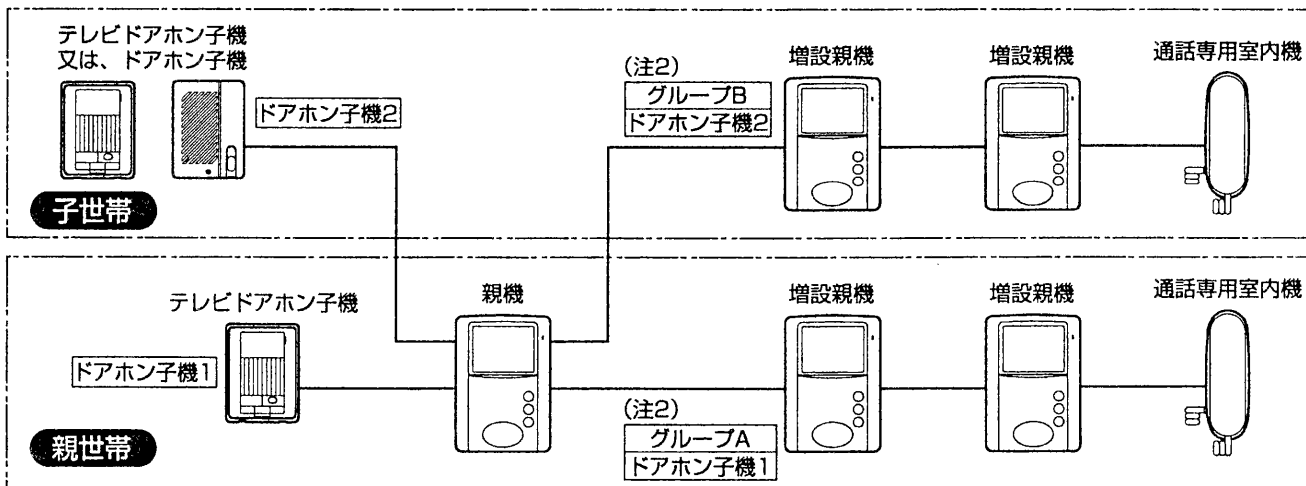
システム例

本システムは、最大次の機種が接続できます。

	機種名	台 数
親機	HTV5250M	1 台
増設親機	HTV5250S	4 台
通話専用室内機	HTV5250T	2 台
テレビドアホン子機	HTV5250D	2 台
ドアホン子機	HTV5250DT	1 台

テレビドアホン子機を2台接続した場合は、ドアホン子機を接続できません。
ドアホン子機は、親機の3、4番端子に1台だけ接続できます。

(1) 1世帯住宅の場合

(注1)：室内間呼出を個別呼出した場合の設定例

(2) 2世帯住宅の場合

(注2)：親機（増設）のグループ設定及び対応するドアホン子機の設定例

特　長

(1) インターホン機能について

- 手放しで通話ができる**ハンズフリー方式を採用。**
- 親機の通話ボタンを一度押すだけで通話ができる**ワンタッチ応答機能。**
- 「は～い」と返事するだけで通話ができる**音声応答機能。**
- 呼び出されても応答しないときは、自動的に映像が消える**タイマー機能。**
- 玄関先の様子を音と映像で確認することができる**モニター機能。**
- 玄関先から室内の家族に呼びかける**帰宅コール機能。**
- 親機間で音声による呼びかけ及び通話ができる**室内間呼出通話機能。**
- カメラドアホン子機は、画角が**ワイド**であり、低い位置でも取り付けできる**チルト機構**付き。又、**赤外線LED**により、暗闇でも約50cm前方まで見ることができます。

(2) メニュー画面上での機能設定とオンスクリーン表示について

- メニュー画面のモード設定により、室内呼の呼出方法を、**一斉呼出(モードA)、グループ呼出(モードB)、グループ/個別呼出(モードC)**に対応できます。
- 2台の子機のうち、どちらの子機の呼出に応答するかを親機、増設親機で設定できます。
- 設定により、グループ別に内線呼出及び通話ができます。
- 設定により、**2世帯住宅にも対応できます。**
- 2世帯住宅の設定時に、他世帯へも子機からの呼出がかけられる**留守コール機能。**
- 子機1、2からの呼出に対して呼出音を鳴らすかどうかを、親機で設定できます。
- 子機からの呼出は、**2種類の呼出音**とモニタ画面上の**オンスクリーン表示**により区別できます。
- 親機からの呼出及び通話等の状態を画面にオンスクリーン表示します。
- メニュー画面により通話タイマーなどをお好みの設定に変更できます。

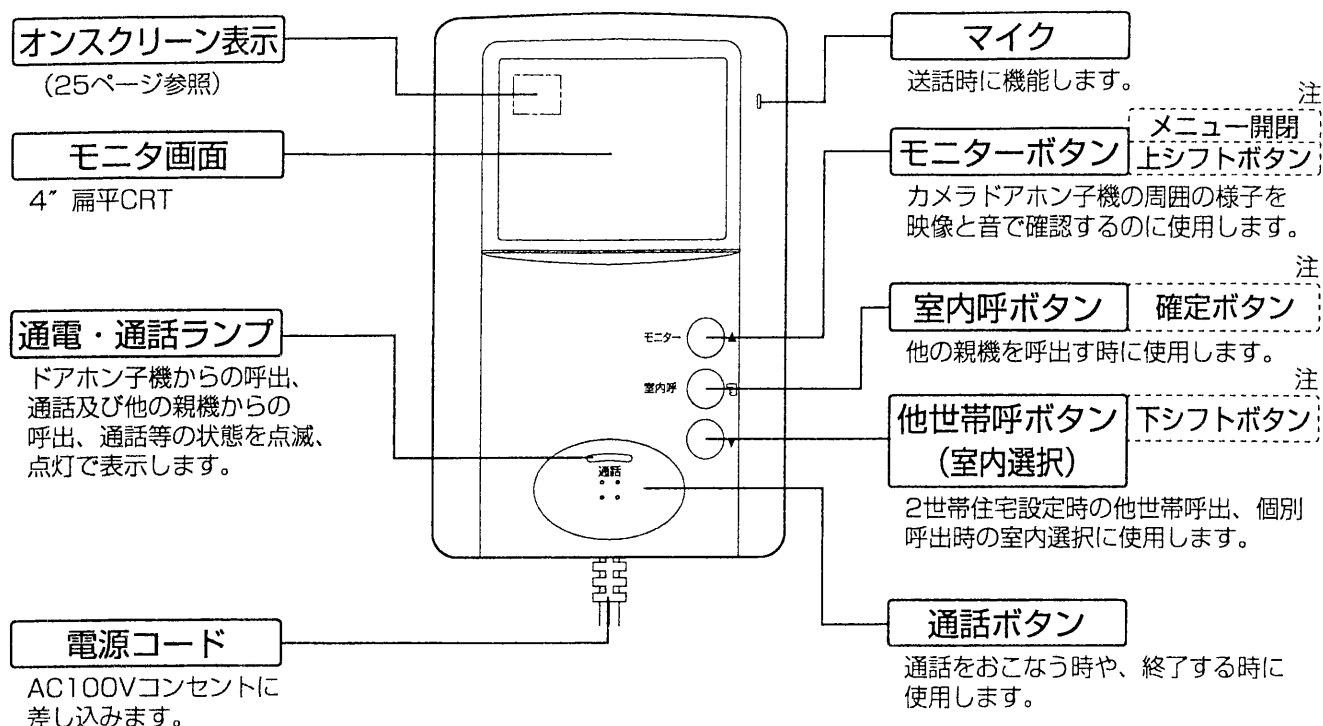
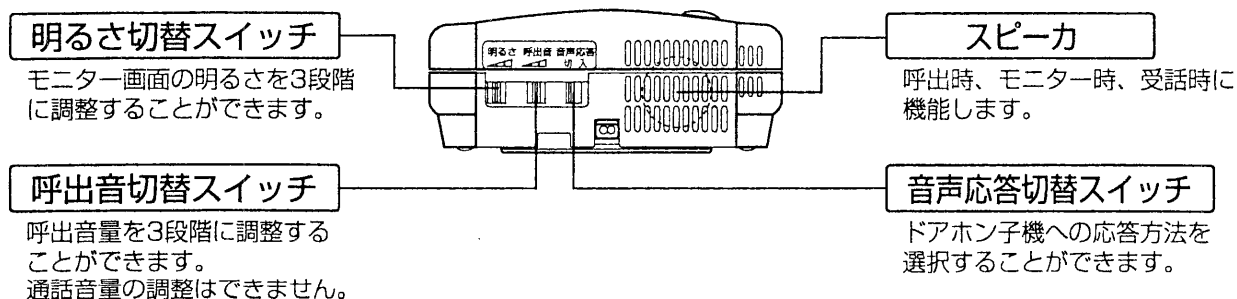
機能一覧表

機　能	機　能　説　明	参照ページ
明るさ切替	モニター画面の明るさを3段階に調整することができます。	6
呼出音切替	呼出音量を3段階に調整することができます。	6
ハンズフリー方式	手放しで通話できる方式。	7
ワンタッチ機能	親機の通話ボタンを一度押すだけで通話ができます。	7
音声応答	子機からの呼びかけに「はーい」と返事するだけで通話ができる機能。	7
テレビドアホン	テレビドアホン子機と親機により、来訪者を映像と音声で確認し、通話することができます。	7
モニタ機能	テレビドアホン子機側の様子を、映像と音で確認できます。	8
オンスクリーン表示	子機から呼出先の区別、及び親機からの呼出、通話等の状態を画面上に表示します。	6、25
呼出音の有無選択	子機からの呼出音の有無選択ができます。	20
留守コール	留守をする時に、自世帯の子機からの呼出を、他世帯の親機にもかけられる機能。留守コールの有無が設定できます。（モードB、C）	12、23

機　能	個別メニュー1、2により使用できる機能	参照ページ
チャイム音	2種類の音、及び呼出音なしから選べます。	20
コール音の設定	個々の親機で、コール音の有無が設定できます。	20
室内呼出	室内呼出方法を、音声呼出、呼出確認音後の音声呼出、呼出音の中から選べます。	20
バイリンガル	メニュー表示を日本語又は英語に設定できます。	21
親機間の応答設定	親機間の室内呼出応答の有無、及びグループ設定ができます。（モードB、C） モードCでは、室内間呼出を、個別呼出に設定できます。	23、24

機　能	システムメニュー1、2により使用できる機能	参照ページ
モード変更	室内呼の呼出方法を、一斉呼出（モードA）、グループ呼出（モードB）、グループ/個別呼出（モードC）に変えることができます。	21
帰宅コール	子機から「ただいま」等呼びかけることができます。	12、21
通話タイマー	通話時間を1分、又は3分に設定できます。	22
通話専用 増設親機接続	接続する子機、及びチャイム音の種類が設定ができます。 通話専用増設親機のグループ設定ができます。（モードB、C） モードCでは、個別呼出設定もできます。	22、23、24

各部の名称とはたらき

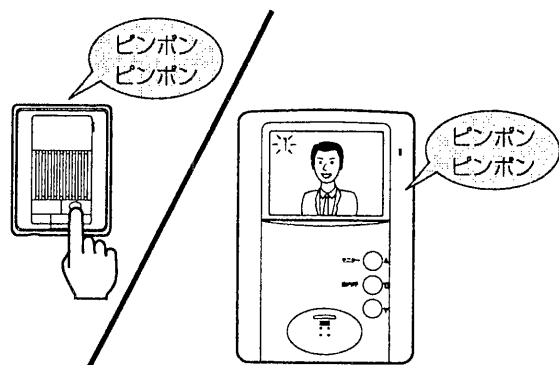
親機(HTV5250M)・増設親機(HTV5250S)

操作のしかた

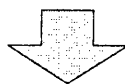
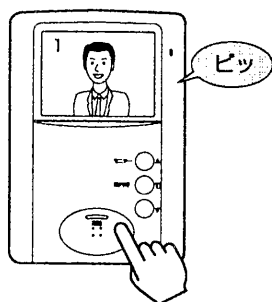
〔通話専用増設親機での操作のしかたは、同機種の取扱説明書をご覧ください。〕

1世帯住宅の場合…………メニュー画面でモードAに設定した場合。
（出荷時の設定）詳細は20ページ「モードAメニューでの設定のしかた」参照。

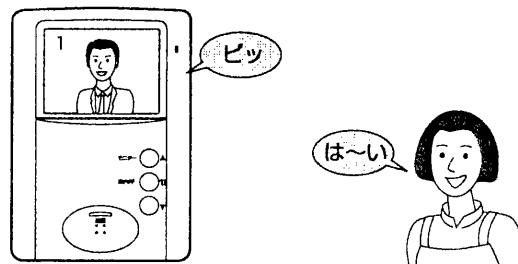
（1）テレビドアホン子機から親機を呼出、通話する時

（ドアホン子機の場合は、映像は映りませんが操作は同様です。）

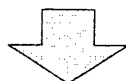
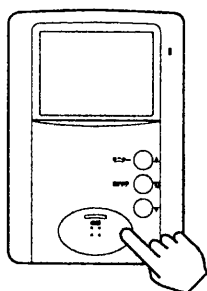
■呼出ボタンを押す

- すべての親機で呼出音が鳴り、映像が映し出されます。
- モニタ画面左上に該当する子機の番号が表示されます。
  子機1からの呼出の時は“1”子機2からの時は“2”と表示されます。
  呼出中は点滅し、応答すると点灯になります。
- 通話ランプが緑色点灯から点滅に変わります。
  音声応答「切」のとき、赤色点滅
  音声応答「入」のとき、緑色点滅

※ 呼出音が鳴ってから、30秒間応答しない時は、映像が消え、待機状態に戻ります。

■通話ボタンで応答する
（ワンタッチ応答機能）

- 呼出音が鳴ったら、通話ボタンを押し“ピッ”と鳴ったらお話ください。
- 通話ランプが点滅から点灯に変わります。
  子機⇨親機への送話時、橙色点灯
  親機⇨子機への送話時、赤色点灯

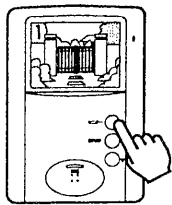
※ 音声応答切替スイッチが「入」、「切」に関係なくご使用できます。

■音声応答機能を使って応答する
（音声応答切替スイッチ「入」の時）

- 呼出音が鳴ったら「は〜い」と答え、“ピッ”と鳴ったらお話ください。
- 「は〜い」は子機には聞こえません。
- 通話ランプが緑色点滅から点灯に変わります。
  子機⇨親機への送話時、橙色点灯
  親機⇨子機への送話時、赤色点灯

※ メニュー画面の設定で“コキヨビ音ナシ”にすると音声応答機能は使用できません。（20ページ参照）

- 応答しない親機は、映像が消え、通話ランプが赤色点灯します。
- 切り忘れ防止のために、通話開始から1分又は3分後に映像と通話は切れ、待機状態に戻ります。もう一度通話ボタンを押すと、再び通話できます。

■通話終了

- 通話ボタンを押すと通話が終了し待機状態に戻ります。
- 通話ランプは緑色点灯に戻ります。

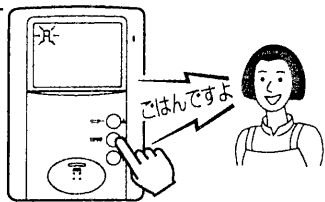
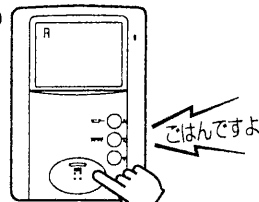
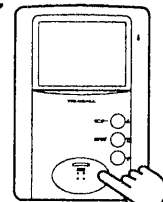
(2) 親機からテレビドアホン子機の映像を見たい時（モニター機能）

■テレビドアホン子機が2台の時

- モニターボタンを押すとテレビドアホン子機1周辺の映像と音が聞こえます。
- モニターボタンを押すごとにテレビドアホン子機1⇨テレビドアホン子機2⇨待機状態を繰り返します。
- モニター中は、画面左上にテレビドアホン子機の番号が表示され、通話ランプが赤点灯します。
- モニター中に通話ボタンを押すとテレビドアホン子機との通話になります。
  通話を終了する時は通話ボタンを押してください。

■テレビドアホン子機が1台の時

- モニターボタンを押すごとにテレビドアホン子機1⇨待機状態を繰り返します。その他は2台の時と同様です。

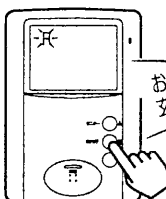
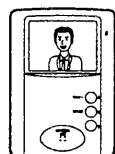
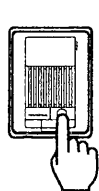
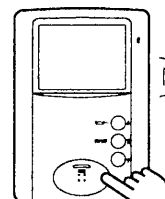
(3) 親機間で呼出、通話をする時（メニューで"シツナイヨビ"の設定が"オンセイヨビ1"の時）

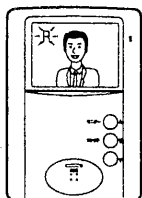
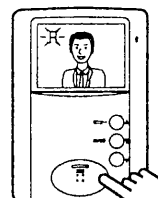
■呼び出す　■応答する　■終了

■呼び出す
- 通話ランプが赤点灯してないことを確認後、室内呼ボタンを押す。
- 通話ランプが赤点滅し、画面左上に"R"の文字が点滅します。
- そのまま呼び出してください。

※ 呼び出すと全親機に呼び出しがかかります。

■応答する
- 呼ばれた方は通話ボタンを押してお話ください。
- 通話ランプが橙（赤）点灯し、画面左上に"R"の文字が点灯になります。
- 通話中以外の親機は、通話ランプが赤点灯し、使用できなくなります。

■終了
- どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

(4) 子機との通話を他の親機に転送する時

- 室内呼ボタンを押し、他の親機を呼び出してください。
- 相手が応答したら、どちらかの親機で通話ボタンを押し、通話を終了します。
- 応答する方の親機で通話ボタンをもう一度押してください。子機と通話できます。

(5) 室内通話中に子機から呼ばれて通話する時

- 子機から呼び出しがあると
  通話中の親機ー画面左上の文字が"R"点灯のまま小さく呼出音が鳴り、子機の映像がでます。
  通話中以外の親機ー呼出音は通常音で鳴り画面左上の文字がBUSY"となります。
- 通話ボタンを押し室内通話を終了すると、全ての親機で呼び出した子機の番号が画面左上に点滅表示します。又、通話ランプは緑（赤）点滅になります。応答する親機は、通話ボタンを押して通話します。
- その時、子機の番号が点灯表示となります。

(6) カメラドアホン子機と通話中に、他のカメラドアホン子機から呼ばれて通話する時

- 使用方法は（5）と同様です。

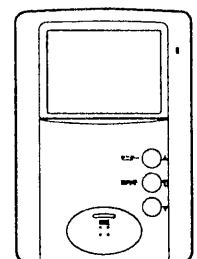
2世帯住宅の場合…………メニュー画面でモードBに設定した場合。
詳細は、23ページ「モードBメニューでの設定のしかた」参照。

●以下に基本的な使用方法を説明します。他は1世帯住宅の場合と同様です。

親世帯の親機をグループAに設定し、子世帯の親機をグループBに設定する。又、親世帯に接続される子機を子機1に、子世帯に接続される子機を、子機2に設定した場合〔システム例（3ページ）を参照してください〕。

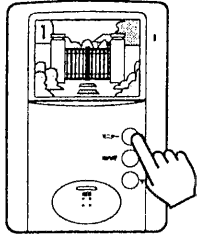
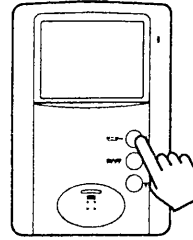
（1）テレビドアホン子機から親機を呼出、通話する時

● 通話ランプが緑色点灯から赤色点灯に変わります。

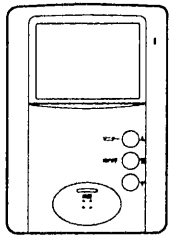
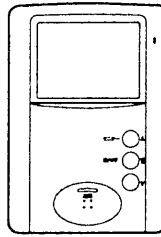
● 通話ランプは赤色点灯のまま。

● 通話ランプが緑色点灯に変わります。

(2) 親機から自世帯のテレビドアホン子機の映像を見たい時

（モニター機能）

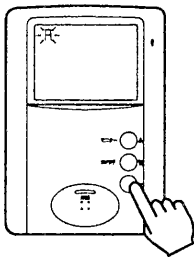
親世帯親機

- モニターボタンを押すと、テレビドアホン子機1の周辺の映像が映り音が聞こえます。
- 通話ランプが緑色点灯から赤色点灯に変わります。

- もう一度モニターボタンを押すと、待機状態に戻ります。
- モニターボタンを押すごとにテレビドアホン子機1⇨待機状態⇨テレビドアホン子機1を繰り返します。

- モニター中は、画面左上にテレビドアホン子機の番号が点灯表示されます。
- 他世帯のテレビドアホン子機をモニターすることはできません。

子世帯親機／親世帯の他の親機

- 通話ランプが緑色点灯から赤色点灯に変わります。

- 通話ランプが赤色点灯から緑色点灯に変わります。

(3) 2世帯親機間で呼出通話をする時

親世帯親機

■呼び出す

- 通話ランプが赤色点灯していないことを確認後、他世帯呼ボタンを押します。
- 通話ランプが赤色点滅し、画面左上に"R"文字が点滅します。
- そのまま呼び出してください。
- 呼出中以外の親機では通話ランプが赤色点灯し使用できなくなります。

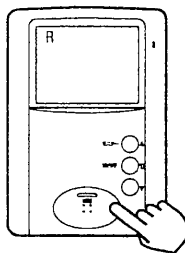
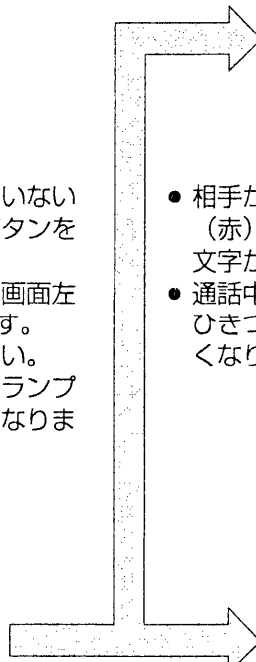
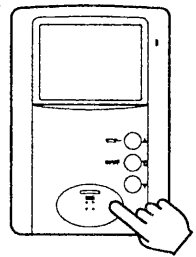
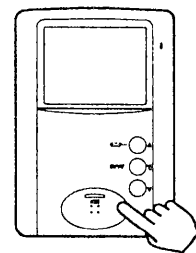
■応答する

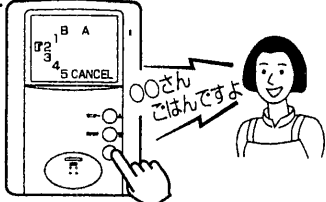
- 相手が応答すると、通話ランプが橙（赤）色点灯し、画面左上の"R"文字が点灯になります。
- 通話中以外の親機は、通話ランプがひきつづき赤色点灯し、使用できなくなります。

■終了

- どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

子世帯親機

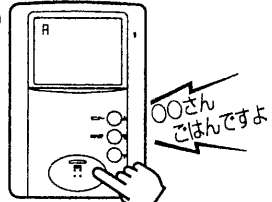
- 全ての親機のスピーカから音声で拡声されます。
- 通話ランプが赤色点滅し、画面左上に"R"文字が点滅します。
- 呼出中以外の親機では通話ランプが赤色点灯し使用できなくなります。

- 呼ばれた方は通話ボタンを押してお話しください。
- 通話ランプが橙（赤）色点灯し、画面左上の"R"の文字が点灯になります。
- 通話中以外の親機は、通話ランプが赤色点灯し使用できなくなります。

- どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

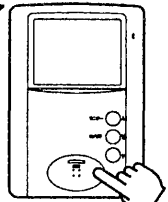
室内間呼出を個別呼出にした場合（1世帯/2世帯の両方に対応）

メニュー画面でモードCに設定する。詳細は、24ページ「モードCメニューでの設定のしかた」参照。

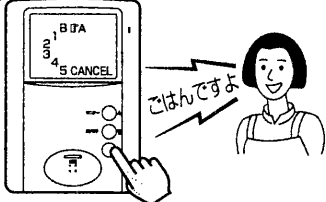
●以下に基本的な使用方法を説明します。

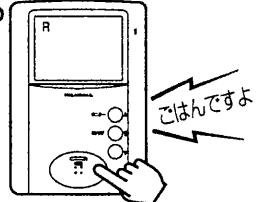
グループ設定を全親機"グループA"とし、個別番号設定を全親機が違う番号になるように、個々の親機で設定した場合〔システム例（3ページ）を参照してください〕。

(1) 1世帯住宅での親機間の呼出、通話する時

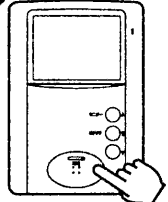
■呼び出す

- 通話ランプが赤色点灯していないことを確認後、室内選択ボタンを押すと画面に"A、B、1～5"が表示されます。
- 呼び出す親機の番号を、もう一度室内選択ボタンを押して選択します。
- 室内呼ボタンを押します。
  通話ランプが赤色点滅し、画面左上に"R"の文字が点滅します。そのまま呼び出してください。

■応答する

- 呼出音は選択した親機のみ鳴ります。
- 呼ばれた方は通話ボタンを押してお話ください。
- 通話ランプが橙（赤）点灯し、画面左上に"R"の文字が点灯になります。
- 通話中以外の親機は、通話ランプが赤色点灯し、使用できなくなります。

■終了

- どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

(2) 1世帯住宅での一斉呼出、通話する時

■呼び出す

- 室内選択ボタンを押して画面の"A"の文字を選択し、室内呼ボタンを押します。
- 通話ランプが赤色点滅し、画面左上に"R"の文字が点滅します。そのまま呼び出してください。

■応答する

- 呼出音はグループAに設定したすべての親機で鳴ります。
- 呼ばれた方は通話ボタンを押してお話ください。
- 通話ランプが橙色（赤）点灯し、画面左上に"R"の文字が点灯になります。
- 通話中以外の親機は、通話ランプが赤色点灯し、使用できなくなります。

■終了

- どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

親世帯の親機をグループAに設定し、子世帯の親機をグループBに設定する。
又、親世帯に接続されるドアホン子機をドアホン子機1に、子世帯に接続されるドアホン子機を、ドアホン子機2に設定した場合〔システム例（3ページ）を参照してください〕。

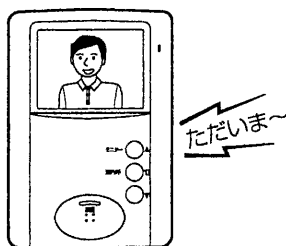
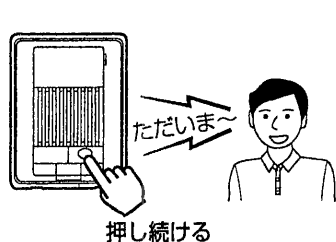
(3) 2世帯住宅での同一世帯親機間の一斉呼出、通話する時

室内選択ボタンで、画面の"A"又は"B"の文字を選択してください。それ以外は（2）と同様です。

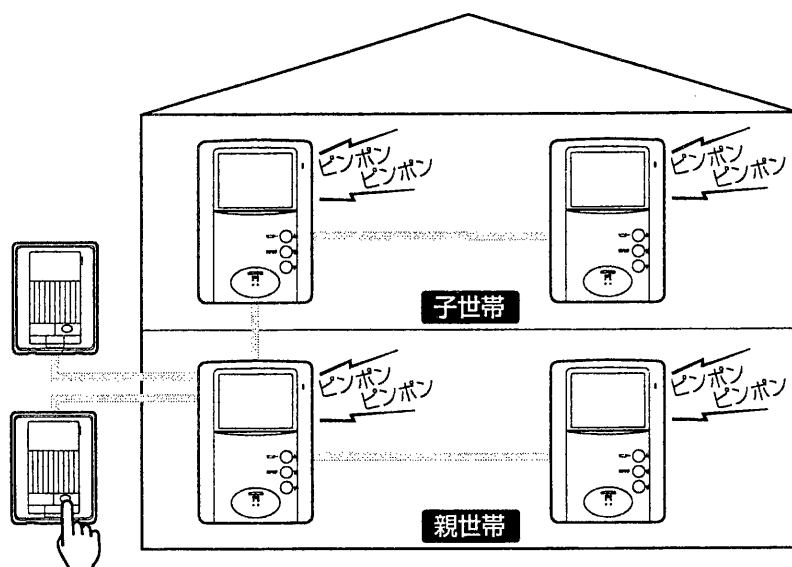
(4) 2世帯住宅での他世帯親機間の呼出、通話する時

室内選択ボタンで、画面の"A"又は"B"の文字を選択する以外は10ページの（3）と同様です。

さらに便利な使い方

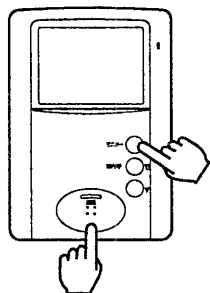
玄関先から室内の家族に呼びかけたい時（帰宅コール機能）

- テレビドアホン子機の呼出ボタンを押し続け（約5秒以上）、呼出音が鳴った後、お話ください。
- 「ただいま〜」等の家族のふれあいをサポートします。

※ 帰宅コール中は親機での音声応答はできません。

留守コールを使いたい時（留守コール機能）

- メニュー設定により外出等で留守する時に、自世帯のドアホン子機からの呼び出しを、他世帯の親機にもかけることができます。
- 設定方法は23ページを参照してください。

※ 留守コール機能を有効にしても、他世帯のドアホン子機をモニターしたり、選択し通話することはできません。

その他の機能、操作のしかた

(1) システムを停止する時

- 親機のモニターボタンを押しながら、通話ボタンを1.5秒以内に5回以上押すと全機能が停止します。
- 停止中は、親機の通話ランプが赤色点滅し、増設親機の通話ランプは赤色点灯します。
- 待機状態に復帰するには、同様な操作を行うか、電源プラグを抜いて通電し直すかしてください。
- 増設親機のみ機能を停止する時は、増設親機で同様な操作を行ってください。

<生産完了 2007年11月16日>
HTV5250S (12 / 27)

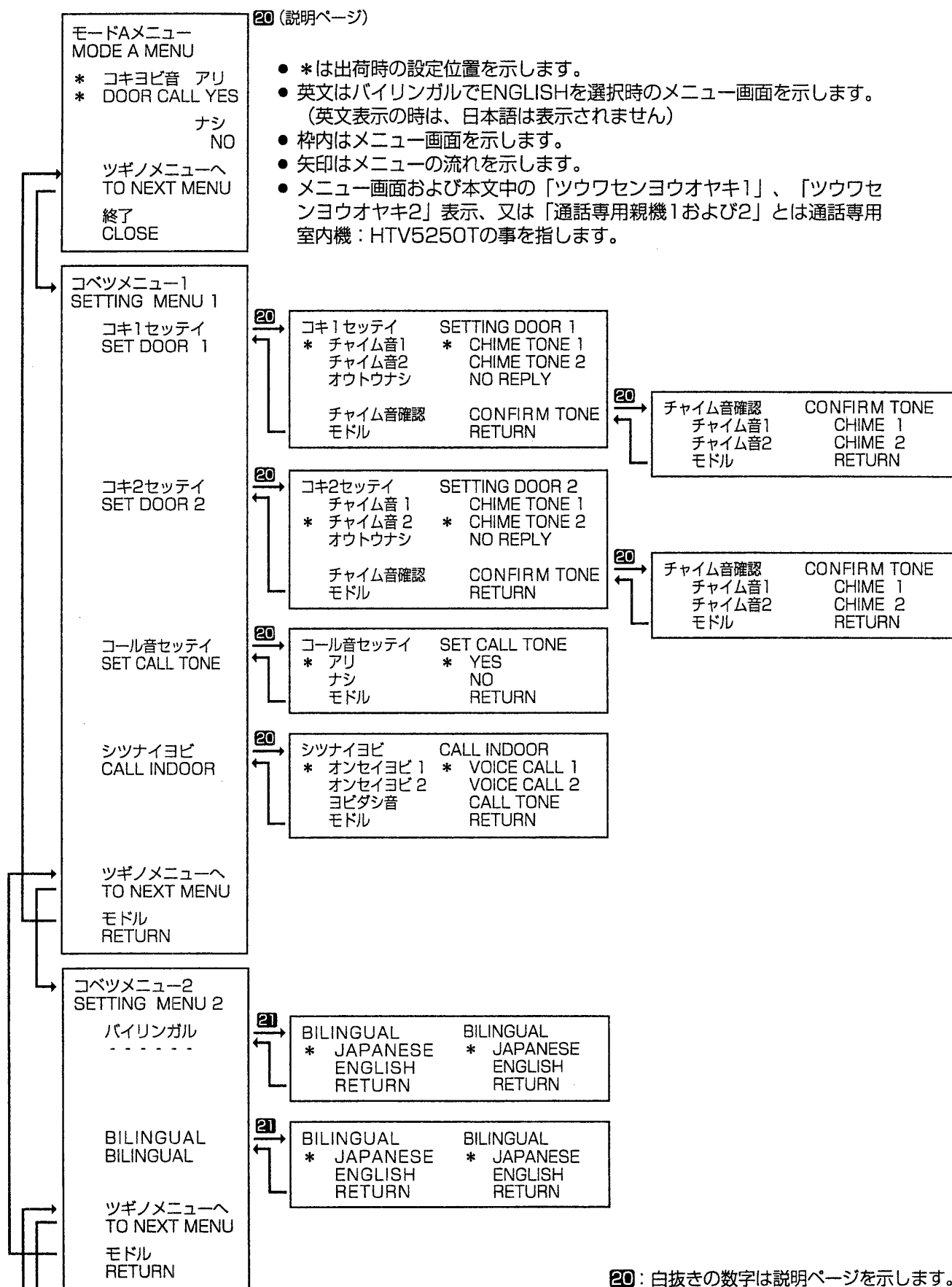
メニュー画面の設定のしかた

メニュー画面一覧表

■ [モードAメニュー (1/2)] 親機・増設親機共通

20 (説明ページ)

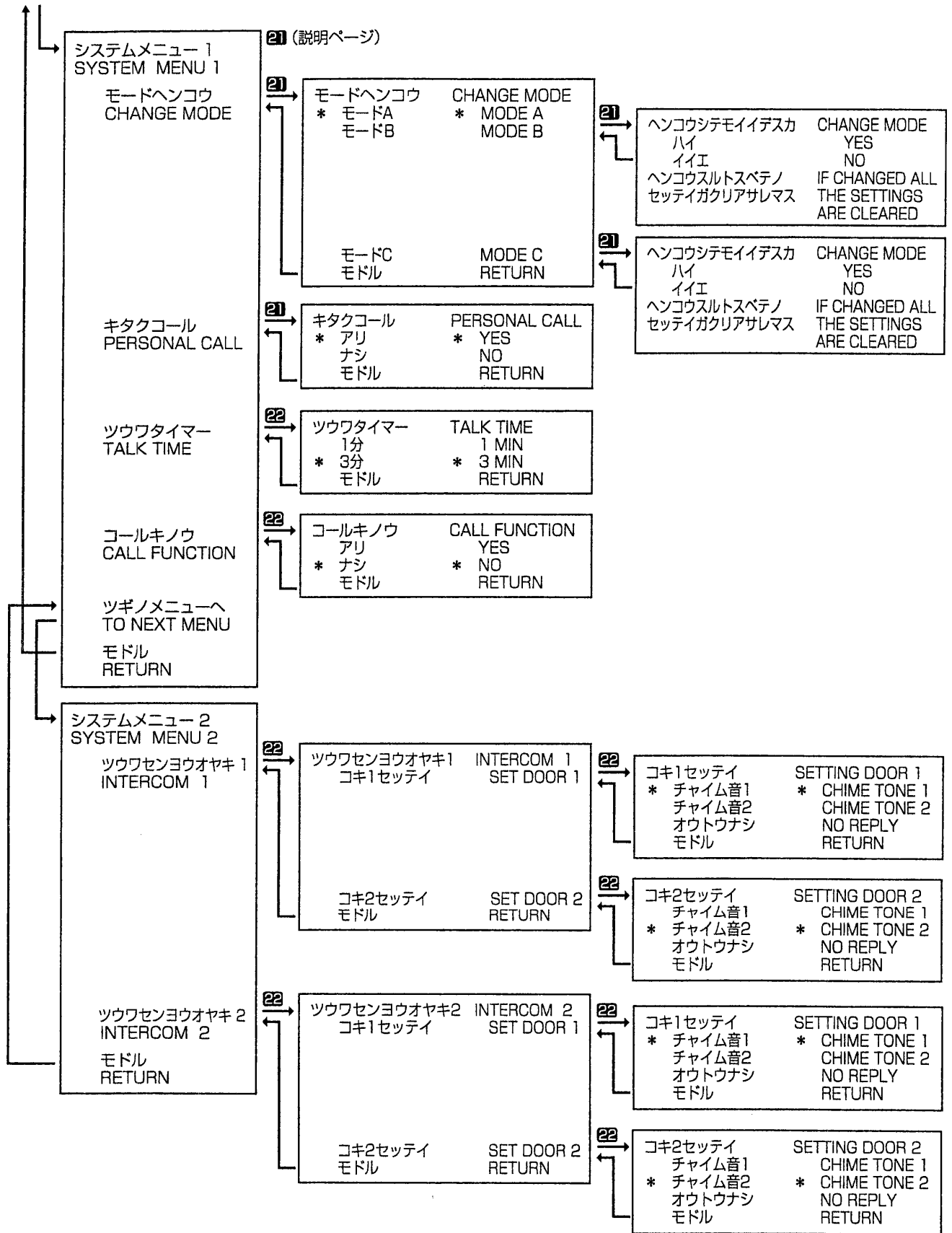
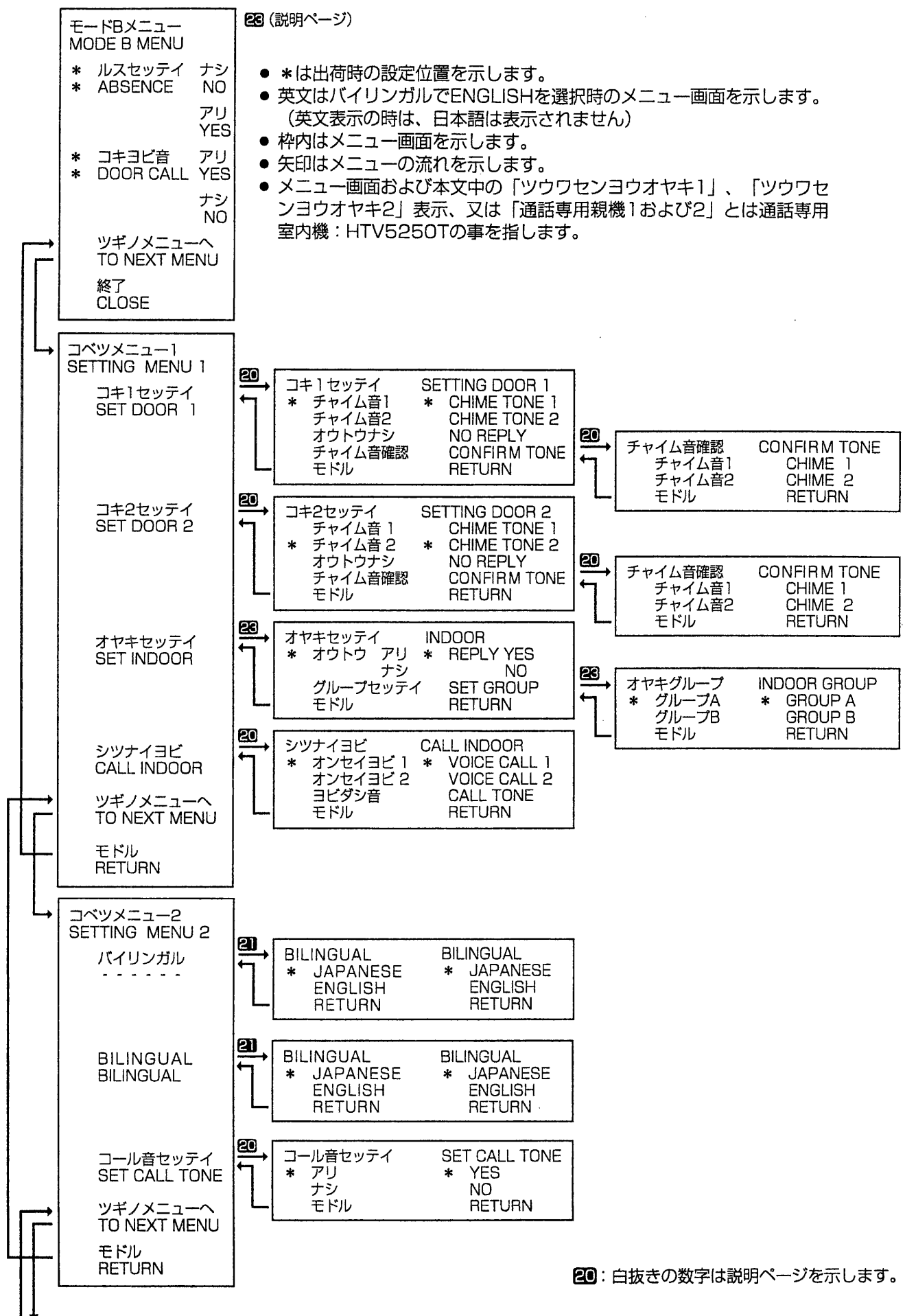
- ＊は出荷時の設定位置を示します。
- 英文はバイリンガルでENGLISHを選択時のメニュー画面を示します。（英文表示の時は、日本語は表示されません）
- 枠内はメニュー画面を示します。
- 矢印はメニューの流れを示します。
- メニュー画面および本文中の「ツウワセンヨウオヤキ1」、「ツウワセンヨウオヤキ2」表示、又は「通話専用親機1および2」とは通話専用室内機：HTV5250Tの事を指します。

20：白抜きの数字は説明ページを示します。

親機専用メニュー [モードAメニュー (2/2)] へ

■ [モードAメニュー(2/2)] 親機専用

■ [モードBメニュー（1/2）] 親機・増設親機共通

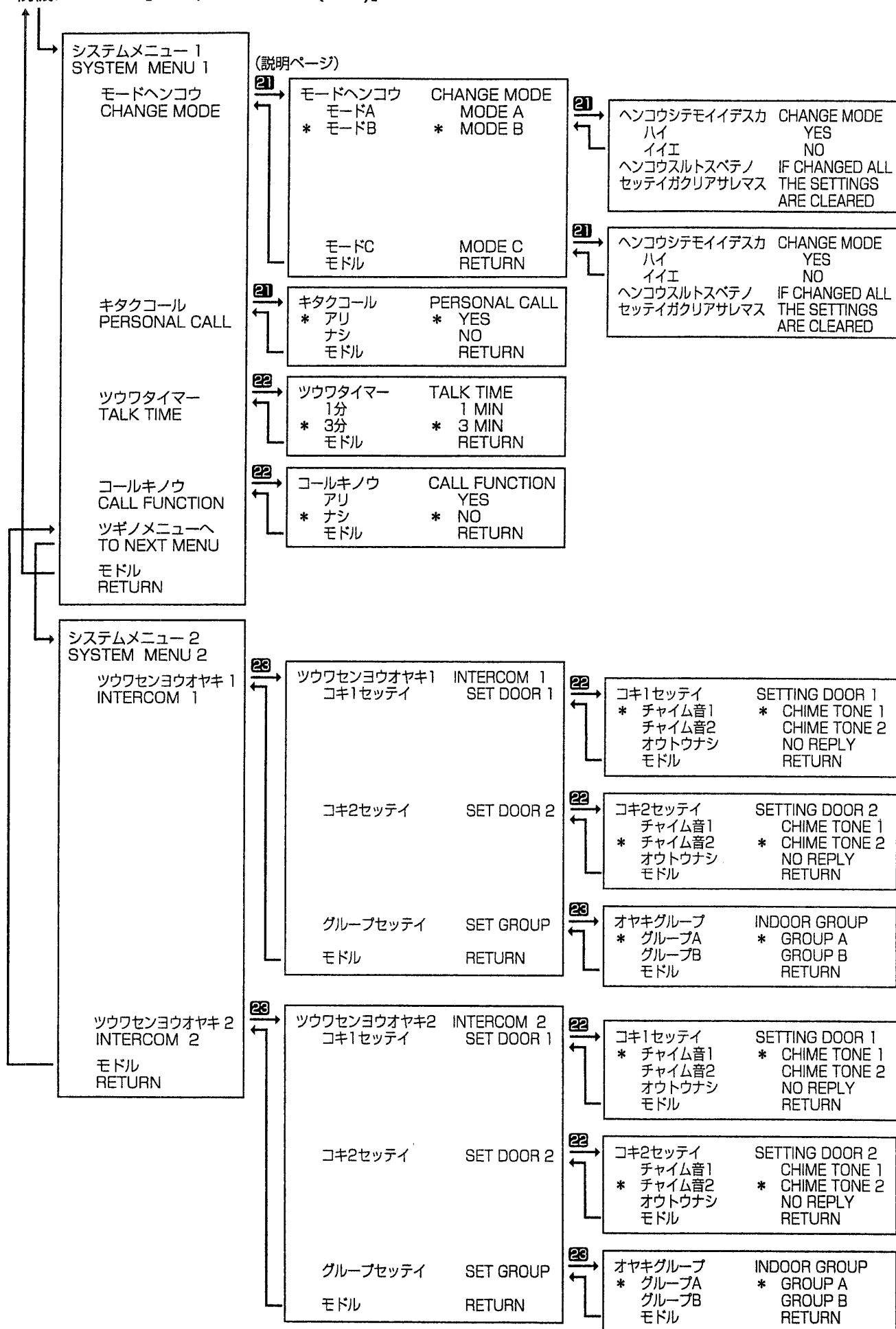
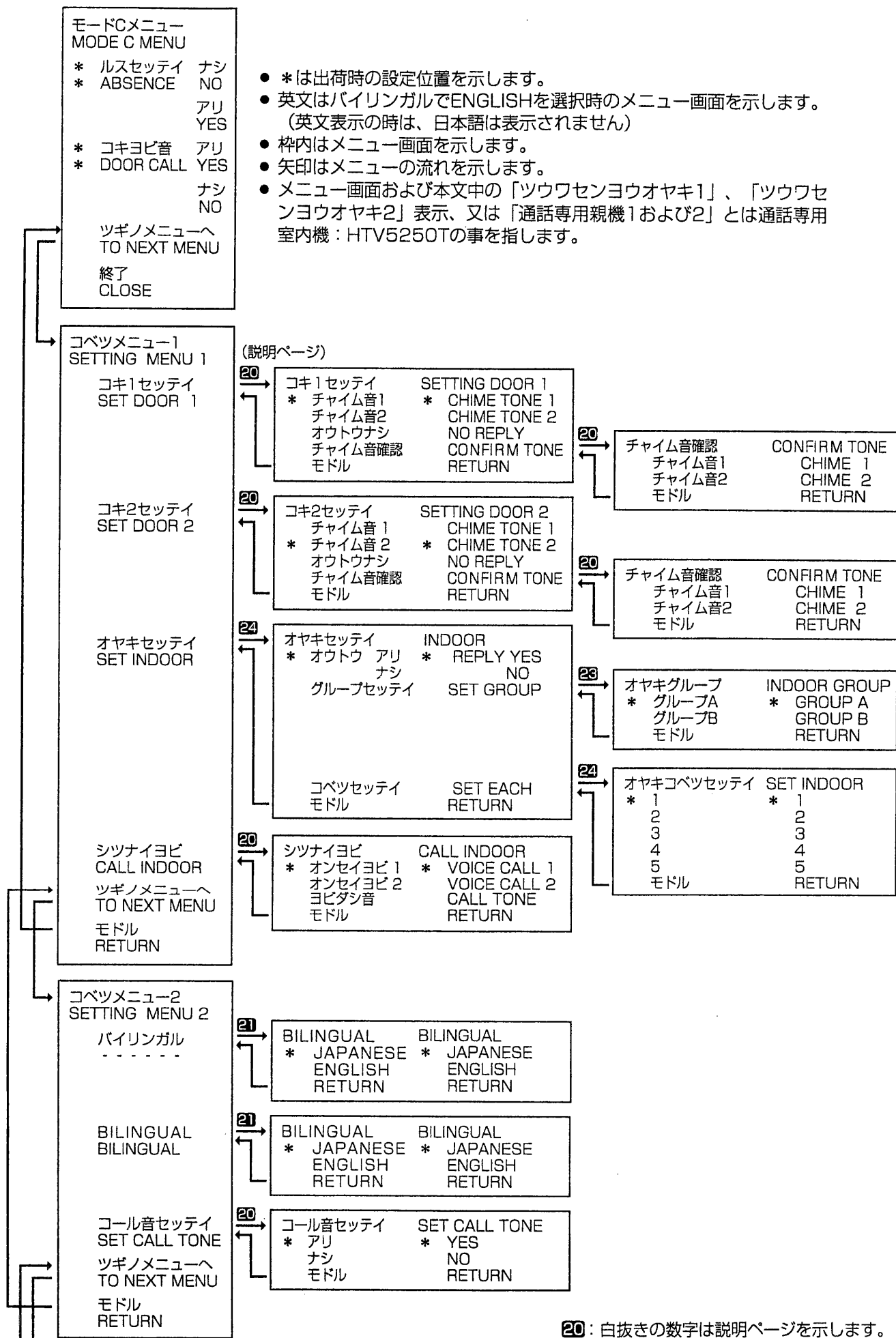
- ＊は出荷時の設定位置を示します。
- 英文はバイリンガルでENGLISHを選択時のメニュー画面を示します。（英文表示の時は、日本語は表示されません）
- 枠内はメニュー画面を示します。
- 矢印はメニューの流れを示します。
- メニュー画面および本文中の「ツウワセンヨウオヤキ1」、「ツウワセンヨウオヤキ2」表示、又は「通話専用親機1および2」とは通話専用室内機：HTV5250Tの事を指します。

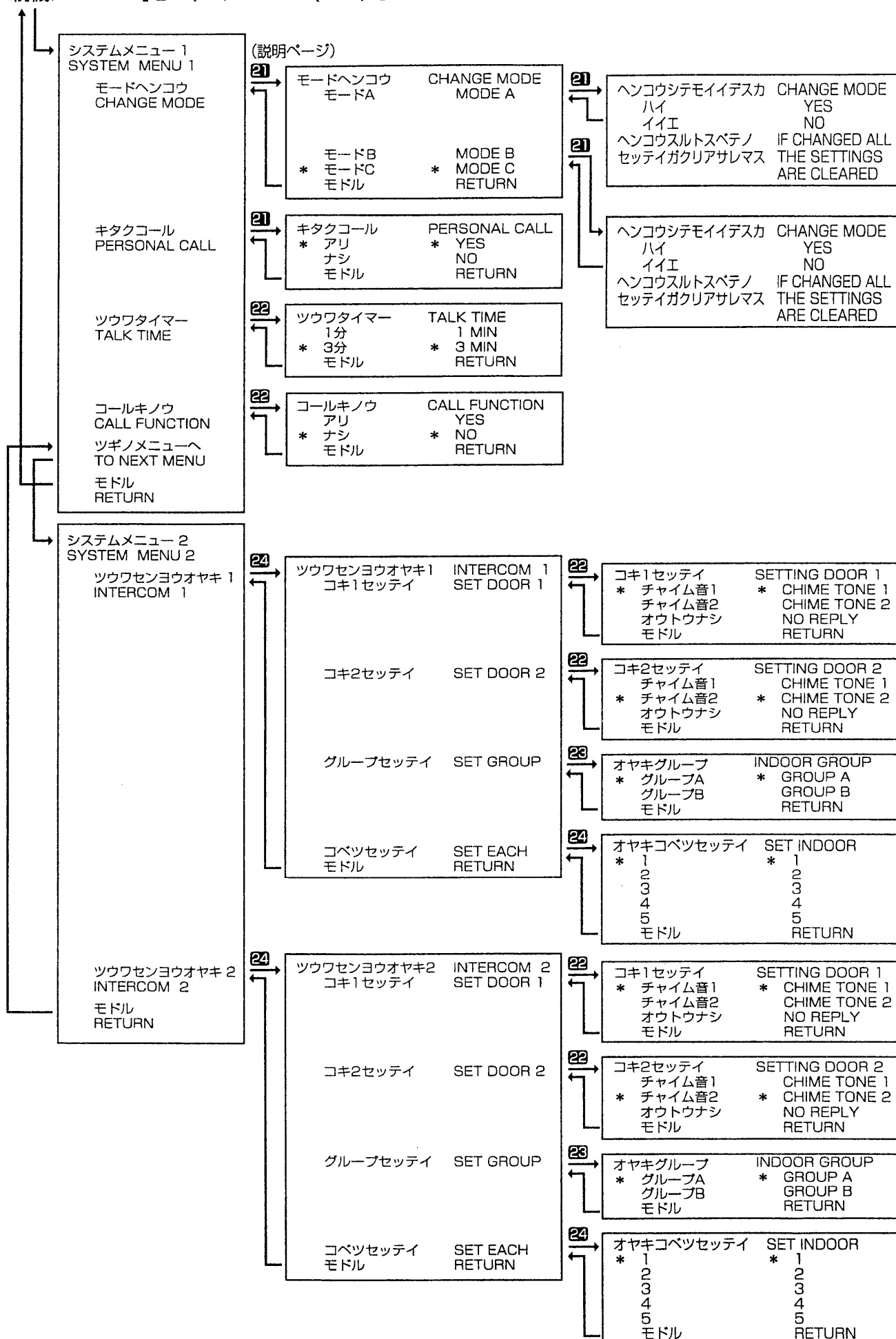
20：白抜きの数字は説明ページを示します。

親機専用メニュー［モードBメニュー（2/2）］へ

■ [モードBメニュー（2/2）] 親機専用

■ [モードCメニュー (1/2)] 親機・増設親機共通

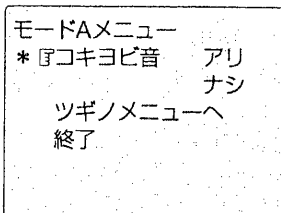
● ＊は出荷時の設定位置を示します。
● 英文はバイリンガルでENGLISHを選択時のメニュー画面を示します。
　(英文表示の時は、日本語は表示されません)
● 枠内はメニュー画面を示します。
● 矢印はメニューの流れを示します。
● メニュー画面および本文中の「ツウワセンヨウオヤキ1」、「ツウワセンヨウオヤキ2」表示、又は「通話専用親機1および2」とは通話専用室内機：HTV5250Tの事を指します。

20：白抜きの数字は説明ページを示します。

親機専用メニュー [モードCメニュー (2/2)] へ

■ [モードCメニュー (2/2)] 親機専用

メニュー画面の開きかたと閉じかた

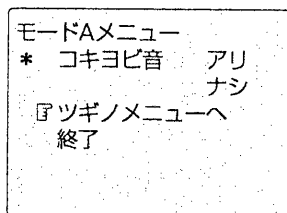
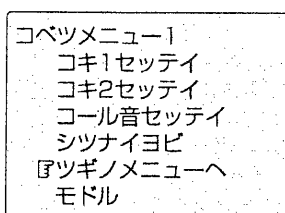
(1) メニュー画面の開きかた（親機、増設親機に共通）

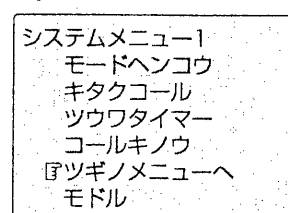
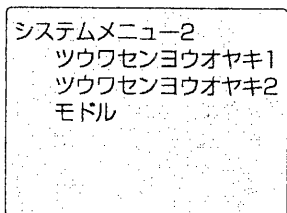
親機の待機時に、モニターボタンを約2秒以上押すと確認音（ピッ）が鳴ってメニュー画面が開きます。
▲（上シフト）ボタンと▼（下シフト）ボタンで設定したい項目に☞（指マーク）を合わせて☞（確定）ボタンを押してください。

モードAメニュー
＊☞コキヨビ音　アリ
　　　　　　　ナシ
　ツギノメニューへ
　終了

- メニュー画面の表示時間は3分間です。
- 出荷時の設定は、モードAになっています。
- 現在、設定されている項目には、＊がマークされています。
- メニュー画面および本文中の「ツウワセンヨウオヤキ1」、「ツウワセンヨウオヤキ2」、表示又は「通話専用親機1および2」とは通話専用室内機：HTV5250Tの事を指します。

(2) システムメニューの開きかた（親機でのみ設定）

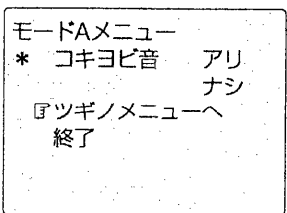
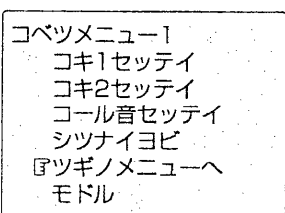
- ツギノメニューへに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

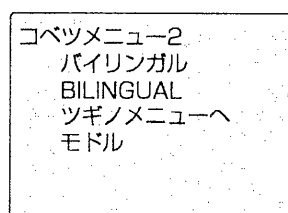
コベツメニュー1
　コキ1セッテイ
　コキ2セッテイ
　コール音セッテイ
　シツナイヨビ
☞ツギノメニューへ
　モドル

- コベツメニュー1を同様な操作をします。
- コベツメニュー2も同様な操作をします。

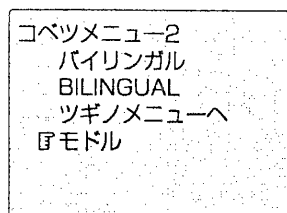
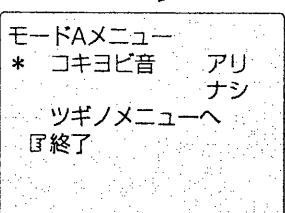
システムメニュー1
　モードヘンコウ
　キタクコール
　ツウワタイマー
　コールキノウ
☞ツギノメニューへ
　モドル

- システムメニュー1を同様な操作をする。
- システムメニュー1はシステム共通のメニューです。
  親機で設定すると全ての増設親機（通話専用を含む）が同じ設定になります。

- システムメニュー2は、通話専用1、2の個別設定メニューです。
- 通話専用には、メニュー画面がありません。親機で設定してください。

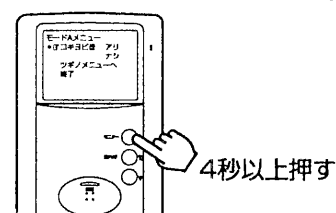
(3) コベツメニューの開きかた（親機、増設親機で個々に設定）

- ツギノメニューへに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

コベツメニュー1
　コキ1セッテイ
　コキ2セッテイ
　コール音セッテイ
　シツナイヨビ
☞ツギノメニューへ
　モドル

- コベツメニュー1を同様な操作をする。
- コベツメニュー1は、親機又は、増設親機で個別に設定しなければいけない項目です。

コベツメニュー2
　バイリンガル
　BILINGUAL
　ツギノメニューへ
　モドル

- コベツメニュー2は、日本語表示と英語表示の切替メニューです。

(4) メニュー画面の閉じかた（下記のいずれかの方法で閉じてください。）

- コベツメニューやシステムメニューの設定が終了したらモドルに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- 画面をモードAメニューに戻します。
- 終了に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

又は

- メニュー画面が開いている状態でモニターボタンを4秒以上押してください。
- メニュー画面が消え、指を離すと確認音（ピッ）が鳴り、待機状態になります。

モードAメニューでの設定のしかた

【1】モードAでの設定（親機、増設親機で個々に設定）

(1) 子機呼出音の有無選択

ドアホン子機1、2からの呼出音（チャイム音）の有無が選べます。出荷時は"コキヨビ音アリ"になっています。

コキヨビ音 ナシを選択すると、ドアホン子機1、2からの呼出音のみ停止することが出来ます。
この場合でも呼び出しがあると映像が映り、応答すれば通話もできます。
※ コキヨビ音ナシを選択すると、音声応答機能は使えません。

- コキヨビ音 アリ又はナシに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。

【2】個別メニュー1での設定（親機、増設親機で個々に設定）

(1) 子機1チャイム音の選択

2種類のチャイム音が選べます。出荷時は"チャイム音1"になっています。

- コキ1セッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す

コキ1セッテイ
＊　チャイム音1
チャイム音2
オウトウナシ
☞チャイム音確認
モドル

- チャイム音確認に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す

チャイム音確認
☞チャイム音1
チャイム音2
モドル

- チャイム音1又は2に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押すと親機より鳴動します。

※チャイム音1
ピンポン×2
チャイム音2
ポロロポロロン×2

- モドルに☞を合わせて☞ボタンを押し、画面を戻します。

コキ1セッテイ
＊☞チャイム音1
チャイム音2
オウトウナシ
チャイム音確認
モドル

- チャイム音を確認したらお好みのチャイム音を選んでください。
- チャイム音1又は2に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- ドアホン子機1との接続を禁止する時は"オウトウナシ"を選択んでください。
- モドルに☞を合わせて始めの画面にします。

(2) 子機2チャイム音の選択

（1）の要領で子機2のチャイム音の設定をします。
出荷時は"チャイム音2"になっています。

(3) コール音の選択

モニタ親機でコール機能を有効にした場合、個々の親機でのコール音有無が選べます。出荷時は"アリ"になっています。

- コール音セッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す

- アリ又はナシに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

(4) 室内呼出方法の選択

室内呼出方法を設定します。出荷時は"オンセイヨビ1"になっています。

コベツメニュー1
コキ1セッテイ
コキ2セッテイ
コール音セッテイ
☞シツナイヨビ
ツギノメニューヘ
モドル

- シツナイヨビに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

シツナイヨビ
＊☞オンセイヨビ1
オンセイヨビ2
ヨビダシ音
モドル

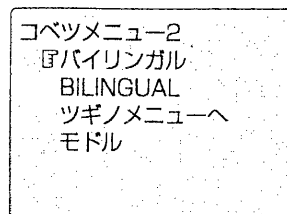
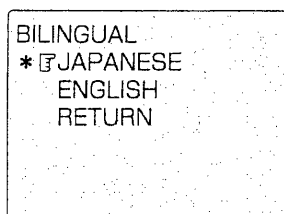
- 3種類の中から☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音をセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

※"オンセイヨビ1"は、直接音声で呼び出します。
"オンセイヨビ2"は、呼出確認音（ポーン）の後、直接音声で呼び出します。
"ヨビダシ音"は、相手の親機で呼出音が鳴ります。

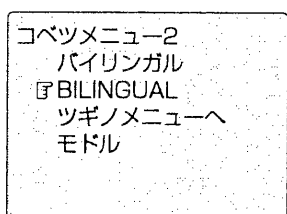
<生産完了 2007年11月16日>
HTV5250S (20 / 27)

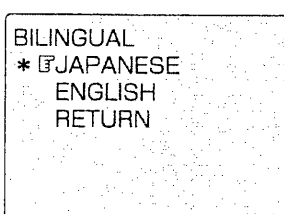
【3】個別メニュー2での設定（親機、増設親機で個々に設定）

(1) バイリンガルの選択

画面の表示を、和文、英文の選択ができます。出荷時は“JAPANESE”になっています。

- バイリンガルに☞合わせる。
- ☞ボタンを押す

- JAPANESE（日本語）又はENGLISH（英語）に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- RETURNに☞を合わせて戻します。

(2) BILINGUALの選択

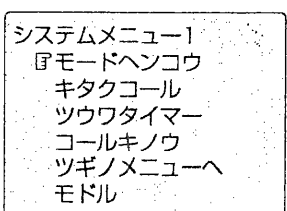
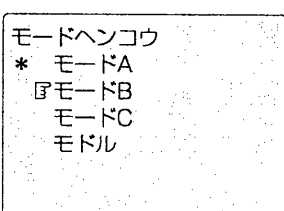
1）の英語表示です。

BILINGUAL
＊☞JAPANESE
ENGLISH
RETURN

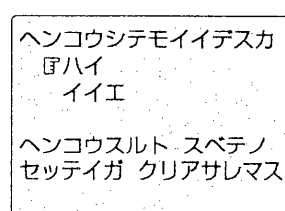
- BILINGUALに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す

- JAPANESE（日本語）又はENGLISH（英語）に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- RETURNに☞を合わせて戻します。

【4】システムメニュー1での設定（親機で設定します。増設親機には、このメニューはありません。）

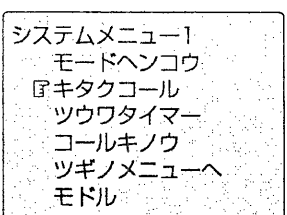
(1) システムのモード変更の選択

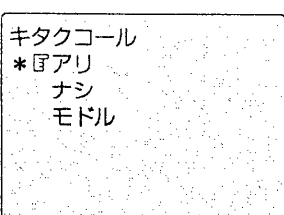
親機でモード変更すると全ての増設親機のモードが変更になります。
出荷時は、モード“A”になっています。

ヘンコウシテモイイデスカ
☞ハイ
イイエ
ヘンコウスルト スベテノ
セッテイガ クリアサレマス

- モードヘンコウに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- モードBに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

※モードAは、1世帯住宅の時
モードBは、2世帯住宅の時
モードCは、室内間呼出を個別呼出にした時。

- ハイ又はイイエに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- 前の画面でモドルに☞を合わせて始めの画面にします。

(2) 帰宅コールの選択

玄関から室内の家族に呼びかけられます。出荷時は、“キタクコール　アリ”になっています。

キタクコール
＊☞アリ
ナシ
モドル

- キタクコールに☞合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- アリ又はナシに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

(3) 通話タイマーの選択

ドアホン子機との通話時間が設定できます。出荷時は“ツウワタイマー　3分”になっています。

- ツウワタイマーに☞合わせる。
- ☞ボタンを押す

- 1分又は3分に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

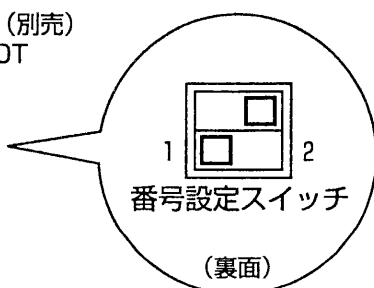
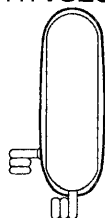
(4) コール機能の選択

親機にコールスイッチを接続するときに設定します。
出荷時は、“コールキノウ　ナシ”になっています。

- コールキノウに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す

- アリ又はナシに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

【5】システムメニュー2での設定（通話専用の個別設定を親機でおこないます。）

(1) 通話専用親機1、通話専用親機2の設定

- メニュー画面および本文中の「ツウワセンヨウオヤキ1」、「ツウワセンヨウオヤキ2」表示、又は「通話専用親機1および2」とは通話専用室内機：HTV5250Tの事を指します。
- 通話専用の番号設定スイッチを1にすると“ツウワセンヨウオヤキ1”の設定となり、通話専用の番号設定スイッチを2にすると“ツウワセンヨウオヤキ2”の設定となります。

(2) 子機1の設定

ドアホン子機1との呼出、通話の許可及びチャイム音の設定をします。
出荷時は“チャイム音1”になっています。

ツウワセンヨウオヤキ1
☞コキ1セッテイ
コキ2セッテイ
モドル

コキ1セッテイ
＊☞チャイム音1
チャイム音2
オウトウナシ
モドル

※チャイム音1
ピンポン×2
チャイム音2
ポロロポロロン×2
※オウトウナシ
ドアホン子機1との呼出、通話を禁止。

- ツウワセンヨウオヤキ1に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- コキ1セッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- チャイム音1又はチャイム音2又はオウトウナシに☞合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

(3) 子機2の設定

(2)の要領で子機2のチャイム音の設定をします。
出荷時は“チャイム音2”になっています。

＜生産完了 2007年11月16日＞
HTV5250S (22 / 27)

モードBメニューでの設定のしかた
（モードAメニューにグループ設定機能が、付加されています。2世帯住宅の時は、このメニューで設定してください。）

●以下に基本的な設定方法を説明します。他はモードAメニューの場合と同様です。

【1】モードBメニューでの設定（親機、増設親機で個々に設定）

(1) 留守コール機能の有無選択

出荷時は“ナシ”になっています。

- ルスセッテイ　ナシ又はアリに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。

【2】個別メニュー1での設定（親機、増設親機で個々に設定）

(1) 親機設定

親機間の室内呼出時の応答有無、及び2世帯住宅でのグループ設定ができます。
出荷時は“オウトウアリ”、“グループA”になっています。

- オヤキセッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- オウトウアリ又はナシに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- グループ設定する時は、同様な操作で次の画面を開いてください。

- グループA又はグループBに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

※ 室内呼出の被呼出、応答を禁止するときは、“オウトウナシ”を選択してください。
その場合でも、他の親機を呼出して通話することはできます。

【3】システムメニュー2での設定（通話専用室内機の個別設定メニューを親機で設定します。）

(1) グループ設定

2世帯住宅で、通話専用室内機を接続する時に設定をします。グループA かグループBに設定してください。
出荷時は、ツウワセンヨウオヤキ1、2とも“グループA”になっています。

- ツウワセンヨウオヤキ1に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- グループセッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- グループA又はグループBに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

- メニュー画面および本文中の「ツウワセンヨウオヤキ1」、「ツウワセンヨウオヤキ2」表示、又は「通話専用親機1および2」とは通話専用室内機：HTV5250Tの事を指します。

モードCメニューでの設定のしかた
(モードBメニューに個別呼出機能が付加されています。)

●以下に基本的な設定方法を説明します。他はモードBメニューの場合と同様です。

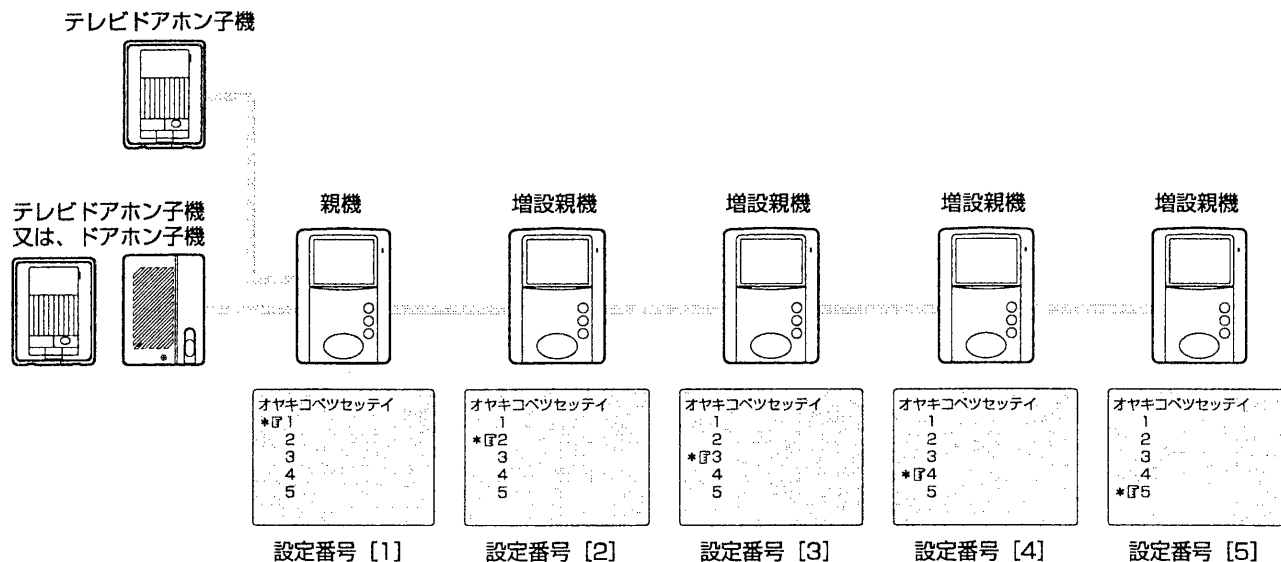
【1】個別メニュー1での設定（親機、増設親機で個々に設定）

(1) 親機設定（親機間の室内呼出応答有無及びグループ設定は、モードBメニューを参照してください。）

各親機で1～5の数字を選択して、自局の番号を設定してください。また、全ての親機が違う番号になるように設定してください。出荷時は"1"になっています。

- オヤキセッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- コベツセッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- 1～5に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

【2】システムメニュー2での設定（通話専用室内機の個別設定メニューを親機で設定します。）

(1) 個別設定

通話専用室内機1、2に1～5の数字を設定してください。その数字が個別呼出時の被呼出番号になります。出荷時は、両方とも"1"になっています。
通話専用室内機には、個別呼出機能がありませんので、呼び出す時は、一斉呼出又は同一グループ呼出になります。　※他グループの呼び出しは出来ません。

- ツウワセンヨウオヤキ1に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- コベツセッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- 1～5に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

<生産完了 2007年11月16日>
HTV5250S (24 / 27)

知っていると便利な表示

(1) 通話ランプの表示

待機時（通電時）…… 緑点灯
モニター時…… 赤点灯
子機からの呼出時…… 緑点滅（音声応答“入”）
赤点滅（音声応答“切”）
通話時…… 赤点灯（送話時）
橙点灯（受話時）
室内呼出時…… 赤点滅
他の親機が通話中時…… 赤点灯
非通電時…… 消灯

(2) オンスクリーン表示（画面内の表示）

1 ………子機1からの呼び出しの時（点滅）又は、子機1と通話中の時（点灯）
2 ………子機2からの呼び出しの時（点滅）又は、子機2と通話中の時（点灯）
R ………他の親機からの呼出の時（点滅）又は、他の親機と通話中の時（点灯）
BUSY…他の親機が使用中の時。BUSYが消えるまで使用できません。

(3) 映像時間一覧

（親機には、ブラウン管の長時間動作を避けるためにタイマーが内蔵されています。）

子機から呼ばれて、通話ボタンを押さない時……30秒
子機から呼ばれて、通話ボタンを押した時……1分/3分
外の様子を見るためにモニターボタンを押した時……30秒
他の親機から呼ばれて、通話ボタンを押さない時……30秒
他の親機から呼ばれて、通話ボタンを押した時……3分
メニュー画面を開いてから閉じる操作をしない時……3分

修理サービス

アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理センター（0120-1048-41：フリーダイヤル）にお問い合わせください。

故障かな

修理を依頼される前に、次の項目を点検してみてください。

症 状	点検項目
動作しない	・停電していませんか ・電源ブレーカーが「切」になっていませんか ・電源プラグ又は、電源結線が外れていませんか
動作しない （配線異常表示が画面上にでる）	・親機、子機間の配線コードの結線が外れていませんか ・親機、子機間の配線コードがショートしていませんか ・親機、増設親機間の配線コードがショート又は誤接していませんか ・画面上の表示に従って点検してください
映像がはっきりしない	・明るさ調整は適正ですか ・モニター画面、カメラレンズ面が汚れていませんか ・背景に太陽光や、外灯などの強い光源がありませんか
呼出音が小さい	・呼出音スイッチが「小」になっていませんか
通話ができない	・通話ボタンを押しましたか
通話が途切れたり雑音が入る	・近くにテレビ、ラジオ、電子レンジなど電磁波や磁気を発生する機器がありませんか
映像がゆがむ（文字がかける）	
モニター画面に白い線が入る	・太陽光などの強い光が、直接、カメラレンズに当たっていませんか

※セットメニューの異常は、正しくセットされているか、今一度確認してください。

お手入れについて

- 汚れを落とすときは、柔らかい布で空ぶきしてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を布に浸して拭き、さらに、乾いた布で拭き取ってください。
- シンナー、ベンジン、化学ぞうきん類は使用しないでください。

仕　様

親機　HTV5250M

形　　　状：壁掛形（付属の壁掛金具を使用）
寸　　　法：215.5(高)×150(幅)×59.5(奥)mm
質　　　量：約1.2Kg
電　　　源：AC100V±10V　50/60Hz
消 費 電 力：待機時　5.5W以下
　　　　　　動作時　19W
通 話 方 式：音声交互自動通話（ハンズフリー）
チ ャ イ ム 音：チャイム音1
　　　　　　　2点打チャイム音×2回
　　　　　　チャイム音2
　　　　　　　2点打トレモロチャイム音×2回
ディスプレー：4形扁平CRT
タ イ マ ー：子機被呼出時　30秒
　　　　　　：テレビドアホン子機モニタ時　30秒
　　　　　　：子機通話時　1分/3分
　　　　　　：室内呼出時　30秒
　　　　　　：室内通話時　3分
使用周囲温度：−5℃〜+40℃
材 質 ・ 色 調：樹脂、白

増設親機　HTV5250S

形　　　状：壁掛形（付属の壁掛金具を使用）
寸　　　法：215.5(高)×150(幅)×59.5(奥)mm
質　　　量：約1.2Kg
電　　　源：AC100V±10V　50/60Hz
消 費 電 力：待機時　4W以下
　　　　　　動作時　11W
通 話 方 式：音声交互自動通話（ハンズフリー）
チ ャ イ ム 音：モニタ親機の仕様による
ディスプレー：4形扁平CRT
タ イ マ ー：モニタ親機の仕様による。
使用周囲温度：−5℃〜+40℃
材 質 ・ 色 調：樹脂、白

付属品

取扱説明書（安全上のご注意）
壁掛金具 …………………………… 1個
小ねじ（M4×30）………………… 2本
木ねじ（3.8×20）………………… 2本

寸　法